



DNW-18025 の概要

課題番号 : DNW-18025

課題名 : SRP(シグナル認識粒子)を分子標的とした新規抗生物質の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

尾仲 宏康 (国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科)

課題番号 DNW-18025 では、SRP (シグナル認識粒子) を標的とする新規抗菌薬の創製に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :
全ての生物が有している SRP は、膜タンパクや分泌タンパク質の局在化を担っている重要な分子である。薬剤耐性となった細菌の SRP を標的とする新規抗菌薬。
- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :
以下のことが PI らにより報告されている。
Goadsporin (GS)は、*Streptomyces sp.* TP-A0584 が生産する抗生物質であり、放線菌の SRP に対して特異的に作用して抗菌活性を示した。
- 最終目標 :
病原菌の SRP を標的とするリード化合物を創出する。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。